

2023年度

二チイキッズ瑞穂保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月20日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添い子どもの気持ちをくみ取る事の大切さを園内研修にて全職員が共通理解を深めた。
子どもの発達援助	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごせるような環境づくりに努めた。子どもの発達状況に配慮した見守り援助を行い子どもができたことを一緒に喜ぶようにした。
保護者に対する支援	保護者の子育てに対する不安や悩みを受け止め、寄り添い、共感し、丁寧な関わりを持つよう努めた。送迎時に、保護者と積極的に言葉を交わし、コミュニケーションをとり信頼関係の構築に努めた。
保育を支える組織的基盤	社内研修に積極的に参加し保育の資質向上に努めた。15分ミーティングや、職員会議等で保育の振り返りやケースカンファレンスを行い、子どもを主体とした視点で関わりが持てるよう職員間で意見交換の場を設けた。

総評
園の保育理念や保育方針に沿った保育計画を立て、取り組むことができた。また、子ども一人ひとりのありのままの姿を受け入れ、子どものからの様々なサインを見逃さず、子どもの求めている援助を行った。また、子ども達がのびのびと身体を動かせるような環境、遊び、玩具を工夫し設定した。次年度も、子どもたちが安心して生活できるように、子ども主体とした視点で保育を行っていききたい。

